

お知らせ

同時資料提供先：合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、広島市政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ、福山市政記者クラブ、尾道市記者クラブ、三原新聞記者クラブ、三次記者クラブ

安全・安心な道路交通環境整備を目指して

広島県交通安全対策アドバイザー会議を開催します

広島県内の安心・安全な道路交通環境整備にかかる施策に関し、学識者や道路利用者等から指導や助言を頂く「広島県交通安全対策アドバイザー会議」を設置しています。この度、下記の日程により会議を開催しますのでお知らせいたします。

国土交通省では、事故データや地域の声に基づく、「成果を上げるマネジメント」を導入し、「事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)」として、関係機関や地域と連携して課題解消に取り組んでいます。当日は、**現地視察**を実施し、懸案箇所の対策検討案について説明し、指導や助言を頂く予定です。

■広島県交通安全対策アドバイザー会議の概要

- 日 時：平成28年3月17日(木) 13:30～16:00
- 場 所： 広島国道事務所 5F 大会議室
(広島市南区 ^{しのめ}東雲 2丁目13-28)
- 会議議題：①懸案箇所の対策検討について【議論】
②事故ゼロプラン等の取り組みについて【報告】
③生活道路対策エリアの検討 他
- 出席者：別紙-1
- スケジュール：別紙-2

■その他

- 現地視察(別紙-2参照)を実施しますが、アドバイザー会議出席者はマイクロバスで移動します。現地視察に同行する場合の移動手段は、各自で準備願います。
- 現地視察場所は駐車場がありません。駐車場は各自で確保願います。
- 会議は公開で行います。撮影は会議の支障にならないようお願いいたします。
- 駐車場は広島国道事務所の駐車場をご利用ください。

■添付資料

- 参考資料1 広島県事故ゼロプランについて
- 参考資料2 生活道路対策の必要性と、ビックデータ(ETC2.0)の活用について

【問合せ先】

○国土交通省 中国地方整備局 広島国道事務所

副所長(管理担当)

ふくとみ しんじ

福富 真治

【事業担当】

交通対策課長

たけした かずゆき

竹下 和幸

TEL(082)281-4139

FAX(082)286-7900

【広報担当】

計画課長

うめばやし いくひこ

梅林 幾彦

TEL(082)281-4133

FAX(082)286-7897

ホームページ

<http://www.cgr.mlit.go.jp/hirokoku/>

○国土交通省 中国地方整備局 福山河川国道事務所

副所長(道路担当)

きしべ あきかず

岸部 明和

【事業担当】

道路管理第二課長

やまうち かずのり

山内 和則

TEL(084)923-2553

FAX(084)923-2558

【広報担当】

調査設計第二課長

い まち かずまさ

井町 和正

TEL(084)923-2510

FAX(084)923-2517

ホームページ

<http://www.cgr.mlit.go.jp/fukuyama/>

○国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所

副所長(道路担当)

さだとう としふみ

貞任 俊典

【事業担当】

道路管理課長

ふじもと さとる

藤本 悟

TEL(0824)63-4200

FAX(0824)63-3094

【広報担当】

建設専門官

みぞかわ かつみ

溝川 克巳

TEL(0824)63-4201

FAX(0824)63-0210

ホームページ

<http://www.cgr.mlit.go.jp/miyoshi/>

広島県交通安全対策アドバイザー会議 出席者

	所 属	職 名
委 員	広島県警察本部 交通企画課	課長補佐
	広島県警察本部 交通規制課	課長補佐
	中国地方整備局 広島国道事務所	副所長
	中国地方整備局 福山河川国道事務所	副所長
	中国地方整備局 三次河川国道事務所	副所長
	広島県 土木局 道路整備課 国道・市町道グループ	主査
	広島市 道路交通局 道路課	課長補佐
アドバイザー	広島工業大学 工学部 都市デザイン工学科	教授
	広島工業大学 工学部 都市デザイン工学科	准教授
	公益社団法人 広島県バス協会	事務局長
	一般社団法人 広島県タクシー協会	事務局長
	公益社団法人 広島県トラック協会	常務理事
	一般社団法人 日本自動車連盟広島支部 事業課	課長
オブザーバー	中国地方整備局 道路部 交通対策課	課長補佐

事務局

中国地方整備局

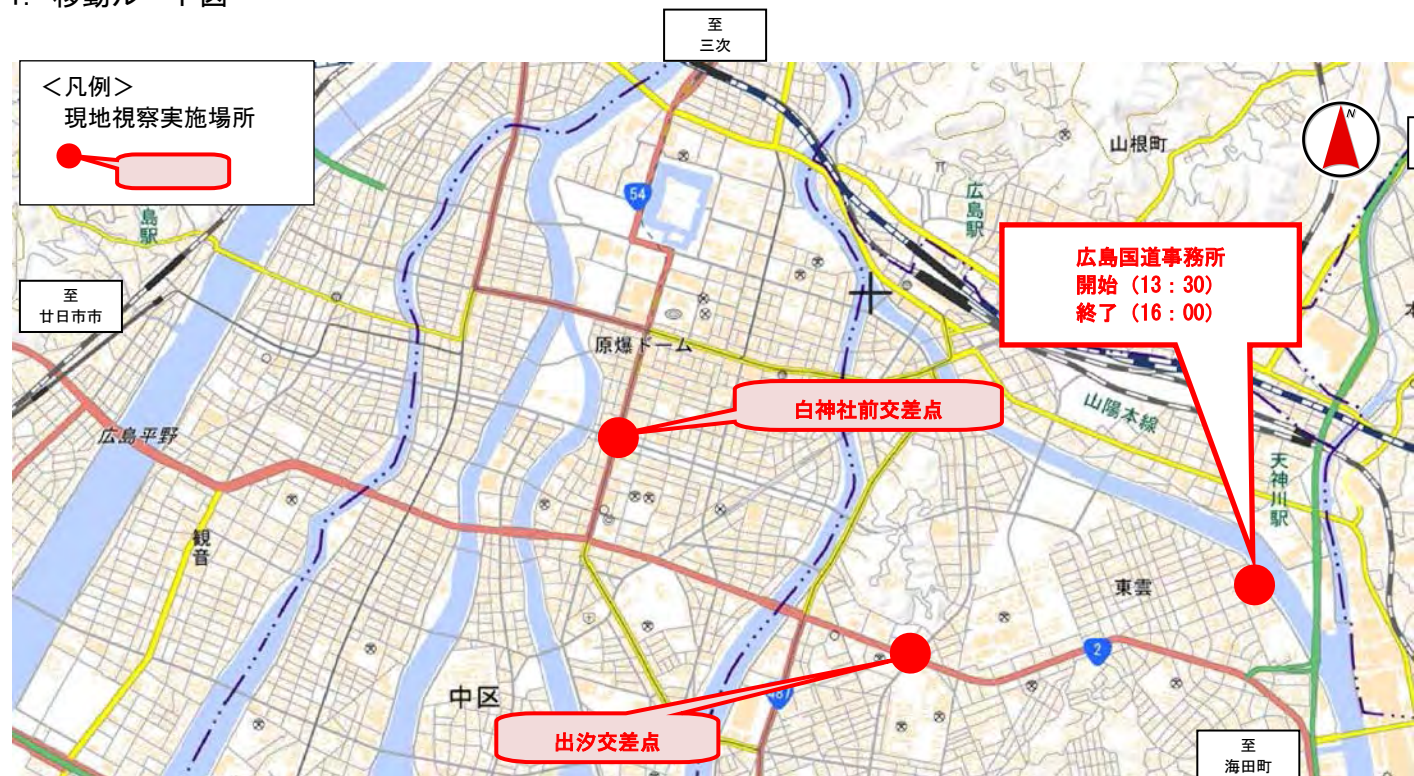
広島国道事務所
福山河川国道事務所
三次河川国道事務所

交通対策課
道路管理第二課
道路管理課

現地視察（2016年3月17日（木）開催）の移動スケジュール

でしお しらかみしゃ
出汐交差点～白神社前交差点

1. 移動ルート図



2. 現地視察スケジュール

広島国道事務所 集合 ⇒ (13:30)	⇒ 車で移動(10分) ⇒ (13:30~13:40)	出汐交差点 ⇒ 視察(30分) ⇒ (13:40~14:10)	⇒ 車で移動(10分) ⇒ (14:10~14:20)
白神社前交差点 ⇒ 視察(30分) ⇒ (14:20~14:50)	⇒ 車で移動(10分) ⇒ (14:50~15:00)	広島国道事務所 ⇒ 到着 ⇒ (15:00)	休憩 ⇒ (20分) ⇒ (15:00~15:20)
アドバイザー会議 ⇒ (40分) ⇒ (15:20~16:00)	解散 ⇒ (16:00)		

3. 集合地点

■広島国道事務所



■出汐交差点 (R2)



■白神社前交差点 (R54)



広島県事故ゼロプランについて

国土交通省ではH22年度を初年度とし、事故が多発する箇所や、地域から改善要望がある箇所を抽出し、「事故ゼロプラン事業」として、関係機関や地域と連携して課題解消(事故危険区間の解消)に取り組んでいる。事故ゼロプランは、PDCAサイクルにより、アドバイザー会議で御意見を頂きながら取り組んでいる。

・ 対策実施の必要性が高い区間の選定 = 「事故危険区間リストの作成・更新」

報告

本アドバイザー会議
(毎年度)

P

【事故原因に即した効果の高い対策を立案】

- ・ 各箇所の事故データの分析
- ・ 事故類型及び支配的な事故発生要因整理
- ・ 効果的な対策内容の選定
- ・ 事業効果の分析評価の提案

C・A

【完了後の効果进行评估】

- ・ 事業効果の分析及び評価
- ・ 区間毎の評価に加え、路線として評価も実施
- ・ 必要に応じて追加対策の検討

議論

本アドバイザー会議
(毎年度)

報告

本アドバイザー会議
(毎年度)

【対策箇所の選定】

- ・ 事業の関係機関協議の熟度
- ・ 地元の状況等
- ・ 事業の優先度
- ⇒ 事業着手箇所を選定

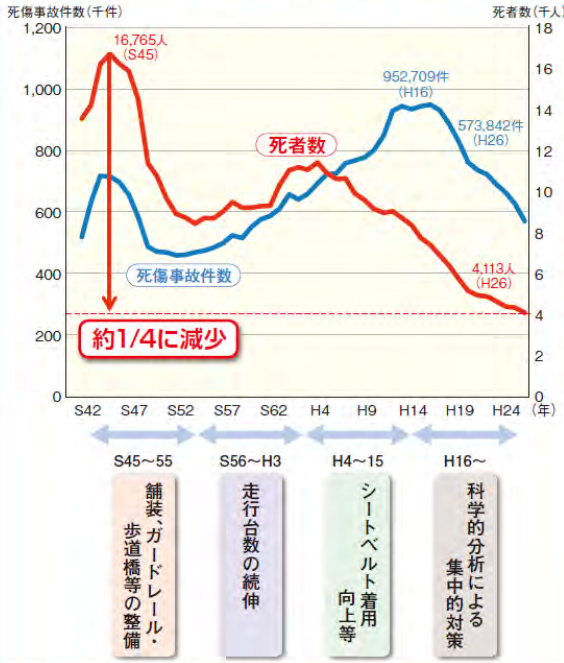
D

【対策に着手】

- ・ 関係機関、地元協議
- ・ 現地検討会実施
- ・ 用地買収、工事実施
- ⇒ 対策完了

死者数は、ピーク時の1万6千人から4分の1の4,113人まで減少。特に自動車乗車中死者数の少なさは、G7トップです。一方、歩行中・自転車乗車中死者数は最下位。全体死者数の半数を占め、その半数は身近な道路で発生しています。

我が国の交通事故発生状況の推移



人口10万人あたり死者数



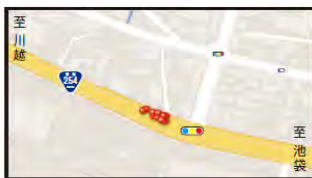
歩行中・自転車乗車中の死者の半数が自宅から500m以内の身近な道路で発生



ビッグデータを活用し、道路の安全性を一層高める交通安全対策を推進しています

区間ごとの事故率による分析に加え、ビッグデータ(急ブレーキ位置情報等)の分析を実施します。これにより、事故の多発する可能性の高い潜在的な危険箇所を特定し、効率的に道路の安全性を一層高めめます。

埼玉県和光市の例 (対策概要)



ビッグデータにより急ブレーキ多発箇所を特定

減速度 0.3G 以上を急ブレーキと定義



現地にて植栽帯が見通しを阻害していることを把握



植栽帯を剪定し、急ブレーキ回数を削減

ETC2.0から得られる情報



対策による効果

